

# 令和8年度 学校経営方針

## 1. 基本理念

### (1) 法令等に則った教育の推進

日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の諸法令や学習指導要領等に示された国・府の理念と方針、市の『教育大綱』『教育振興基本計画』『学校園の管理運営に関する指針』等に則り、学校の組織体制を整えて教育課程を適正に編成し実施する。

### (2) 安全・安心な学校の確立

組織的な生徒指導体制のもと、教職員が事実経過と指導方針を共有し、迅速かつ適切な課題解決を図る。常に『学校いじめ防止基本方針』と『危機管理マニュアル』を見直し、いじめ・不登校と事故・不祥事等の未然防止・早期発見、迅速な対応に取り組む。

また、防災および感染症、アレルギー等に対する正しい知識・理解に基づく迅速かつ適切な対応に努めるとともに、校区の防災避難所としての機能を果たすべく、市や地域と連携して緊急時の施設運営をサポートする。

### (3) 学力および体力の向上

学力および体力の向上プランに基づき、「自ら学び」「使いこなせる」学力と「健康を守り」「やる気を支える」体力の向上をめざす。

『児童が主体的に活動し、体力向上に繋げる研究～体育科を通して、運動が楽しいと思える授業づくり～』をテーマに、体育科を核として、さまざまな授業において自己の選択と決定を促す場を設けて、「自ら課題を考え、進んで活動に取り組みながら課題解決ができる、資質・能力の向上をめざす児童の育成」に取り組む。

また、各種イベントやコンクール等への積極的な参加を通して、児童の果敢に挑戦して己を磨こうとする気概を育てる。

### (4) 「中学校区」連携と「幼保こ小」連携

第四中学校・五常小学校・山之上小学校とともに、『豊かな人間力と確かな学力を持つ子どもの育成』をめざして、合同の研修等を通じて学校間の情報共有と生徒指導の連携に努め、学校間の切磋琢磨による教育活動の質の向上と進学時の円滑な接続に取り組む。

また、未就学児の小学校へのスムーズな接続に向けてスタートカリキュラムを策定し、藤田川保育所とみずき敬愛保育園をはじめとする近隣の「幼保こ小」との交流を進める。

### (5) 地域・保護者との連携

オープンスクールや授業参観・懇談、まなびポケットやブログ等を通じて、適時かつ適切な情報の提供を心がけるとともに、校区コミュニティ協議会やPTA主催の行事に積極的に参加し、地域・保護者と協力して児童の健全育成に努める。

また、校区コミュニティ協議会・PTA・有識者からなる学校運営協議会による本方針の承認のもと、コミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校づくり」を推進する。

## 2. 教育目標

『心豊かで 互いに高め合える 開成っ子』

～自律性・共創性を大切にした教育～

自律性：じぶんで考えて決める力

共創性：みんなで認め合い創り出す力

合言葉は 「やさしい心で 考え 行動しよう！」

### (1) めざす子ども像

- ねばり強く 健康な 子ども
- 自分で 考えて 決めて 実行する 子ども
- 心豊かで 思いやりのある 子ども
- 学ぶ喜びを感じる 子ども

一人ひとりの子どもを見つめ その豊かな可能性を信じて

### (2) めざす学校像

- ◇ 笑顔あふれる 楽しい 学校 (笑顔で対話を)
- ◇ 信頼される 美しい 学校 (整った教育環境を)
- ◇ 学びたくなり 伸びる 学校 (系統的な指導を)

子どもが 生き生きと 心地よく 自ら進んで学ぶ 学校に

### (3) めざす教師像

- ◎ 子どもと向き合う 教師
- ◎ 授業実践で応える 教師
- ◎ 自ら進んで学び合う 教師
- ◎ 切磋琢磨し合う 教師
- ◎ やりがいをもって生き生きと働く 教師

教育者としての 使命感と信念を 持続的に持ち続けられる教師で

### 3. 重点目標

#### 重点項目①「体力向上の取り組み」

目標：運動を生活の一部（日常化・習慣化）とし、自らの思考に基づいて5Cを活用した振り返りを通して、心身を高める児童を育成する。

##### ○運動の「日常化・習慣化」の推進

日常的な活動の積み重ねを通して、「つい身体を動かしたくなる」仕組みを構築し主体的に運動に親しむ態度を養う。

##### ○「開成ジュニアオリンピック（仮）」の開催

友だちとの協力によって目標を達成する喜びを味わう、挑戦と意欲に満ちた場を創出する。

##### ○5Cを掛け合わせた振り返りの充実

「運動能力向上(体カテストベース)」と「5C(Communication, Collaboration, Critical Thinking, Creativity, Curiosity)」の視点を融合させた振り返りを実施する。

##### ○教職員の指導力向上

研究指定校として、全教職員が児童の意欲を引き出し、運動の楽しさを伝えることをめざした体育科の専門的研修を年間通じて実施する。

#### 重点項目②「探究的な学びに向けた授業改善」

目標：日頃の教科指導から授業スタイルを改善し、その力を土台に、学校外と連携した「わたしにできること！が世界をかえる」探究プロジェクトを展開する。

##### ○日々の教科指導における授業改善

探究学習の基礎体力として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を、日常の授業から体现する。

##### ○「学校外と連携したPBL」の推進

外部専門機関と積極的に連携し、多様な大人との対話を通して学びを深める場を設定する。

##### ○教科横断的で持続可能な探究（「わたしにできること！が世界をかえる」）

教科で培った知識を融合させ、「今の自分に何ができるか」を主軸とした探究活動を推進する。

#### 重点項目③「人権教育の推進とインクルーシブな支援の充実」

目標：自立活動の充実と教職員研修を通し、一人ひとりの特性を尊重した組織的な支援体制によって、すべての児童が輝く学校を創る。

##### ○「自立活動」の充実

個別の指導計画に基づき、児童が自身の特性を理解し、環境を調整したり他者に助けを求めたりする力を育む「自立活動」の視点を取り入れた指導を一層推進させる。

##### ○教職員の人権・特別支援研修

専門研修を継続的に実施し、教職員の専門性を組織的に高める。

##### ○包括的支援体制の構築

すべての児童が「居場所」と「役割」を実感できる、安心・安全な学習環境を整備する。

# 令和8年度 開成小学校 学校経営方針：未来を拓く3つの重点項目

児童が自ら考え、多様な人々と協力しながら、  
安心できる環境で個性を伸ばすためのアクションプラン

## 重点項目①

### 体力向上の 取り組み



#### 運動の「日常化・ 習慣化」の推進



- 朝学習や休み時間を活用し、児童が自発的に体を動かしたくなる仕組みを構築します。



- 「開成ジュニアオリンピック(仮)」の開催  
日頃の成果を可視化し、自己ベスト更新や友だちとの協力を通じて挑戦意欲を育みます。



- 5Cを活用した  
振り返りの充実  
思考力や創造性などの「5C」視点で自己分析を行い、振り返りの工夫に繋がります。

## 重点項目②

### 探究的な学びに 向けた授業改善



#### 日々の教科指導における 「選択」の導入



- 学習課題や場所を児童自身が選べる場面を設定し、個別最適な学びを具現化します。



- 学校外の専門機関と  
連携したPBL  
地域・企業・大学と連携し、実社会のリアルな課題を通じた対話的な学びを深めます。



- 持続可能な  
「わたしにできること」探究  
教科横断的な知識を融合させ、次年度や他学年へも継続する探究運動を推進します。

## 重点項目③

### 人権教育と インクルーシブな支援



#### 「自立活動」による 自己理解の促進



- 自身の特性を理解し、環境を調整したり他者に助けを求めたりする力を育みます。



- 包括的な組織的  
支 体制の構築  
全教職員が連携し、すべての児童が「居場所」と「役割」を実感できる環境を整えます。



- 教職員の専門性を高める  
継続的研修  
ユニバーサルデザインや合理的配慮、無意識の偏見に関する研修を継続的に実施します。

## 4. 具体的な取組

### (1) 機能的な組織体制と地域・保護者等による外部評価を活かした学校運営

法令等の趣旨を踏まえ、校長が職員会議を主宰し、教育目標の具現化に向けて効率的・効果的に学校を運営する。企画委員会においては、職員会議の議題を精選し、校長の指示・伝達ならびに分掌部会・校内委員会、教科部会、学年会の企画・提案の検討および取組の成果と課題の検証を行う。

分掌部会・校内委員会、教科部会においては、主担のリーダーシップのもと、担当業務の内容と責任の所在を明らかにして、教職員の主体的・積極的な学校経営への参画を進める。

学年会においては、主任のリーダーシップのもと、職員会議や分掌部会および校内委員会等における共通認識と決定事項の確認・共有を徹底し、きめ細やかな児童理解に基づく児童への指導、保護者への対応を実践する。

さらには、校区コミュニティ協議会・PTAとの三者連携の体制を確固たるものとし、学校運営に関する適切な情報提供を行うとともに、有識者を加えた学校運営協議会による学校評価をもとに成果と課題を検証し、機能的な組織体制と効率的な業務分担・働き方による持続可能な学校運営をめざす。

### (2) 自己有用感を高める生徒指導と他者を尊重する集団づくり

すべての教職員が、授業、給食、清掃、さらには行事や特別活動、休み時間に至るまで、常に肯定的な声かけと評価を意識して児童と接する。自己有用感を高める活動の場や課題、他者と協働して目標を達成する取組を具体的かつ効果的に設定・実施し、いじめ・不登校の未然防止と迅速かつ適切な対応を支えるコミュニケーション豊かな学級・児童会等の集団づくりを進める。

『学校いじめ防止基本方針』に基づき、教職員のきめ細かな児童理解・観察と、毎学期の学校生活（いじめ）に関するアンケートを活かして、いじめ・不登校の未然防止・早期発見と支援に努める。

また、保護者・地域・関係機関等と連携して、「いじめは絶対にゆるさない」という毅然とした姿勢で早期解決に取り組む。

### (3) 具体的・客観的なデータに基づく学力と体力の向上をめざす取組

全国学力・学習状況調査や大阪府学力テスト（すくすくウォッチ）、体力テスト、授業アンケート、単元テスト等のデータを分析・活用して、すべての児童の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の実現による児童の学力と体力の向上をめざす。

データが示す本校児童の学力向上に向けた課題の一つである「与えられた課題に対して、付帯する条件や状況に応じて、思考・判断・表現の持てるスキルを活かして解決にたどりつく力をつける」ために、さまざまな場面において自己の選択と決定を促す場を設けて、児童を「自律」や「共創」に導く課題の精選による効果的な練習の質と量の充実に取り組む。

また、大阪体育大学の小林博隆准教授を招いて体育科を核とする授業研究と体力向上に取り組む校内研究においては、授業面のアプローチ（振り返り、5C、運動能力、体づくり運動）と生活面のアプローチ（開成ジュニアオリンピックなど）で「児童が主体的に活動し、体力向上に繋げる研究」～体育科を通して、運動が楽しいと思える授業づくり～をめざす。

#### (4) タブレットの活用と自学自習のすすめによる「シームレスな学び」

登校不安や感染症等による長期欠席の場合にも、学びを止めないよう一人に一台貸与されているタブレット端末によるオンライン授業を活用する。また、市提供のプラットフォーム『まなびポケット』にある学習コンテンツ「navima（ナビマ）」や「タイピング」「読書」、そして自ら課題探究する自主学习を通して授業と家庭がつながる「シームレスな学び」を実現し、児童のさらなる学力・学習意欲向上を図る。

#### (5) 支援教育の充実

支援学級および通級指導教室、通常の学級それぞれの学びの場において、一人ひとりの障がい状況に応じた適切な学習内容や授業時数等の教育課程を編成するとともに、保護者との連携のもと「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、支援教育補助員（通級補助）と連携して自立活動も充実させた児童の「個別最適な学び」を実現する。

本年度も肢体不自由学級を中心に、個別の「緊急対応マニュアル」を作成して教職員の共通理解を図り、支援教育補助員と連携して、児童に対する安全かつ適切な支援を行う。

#### (6) ユニバーサルデザインあふれる学校づくりと情報教育

児童が整った教育環境の中で心地よく学び合い、「見やすい」「聞きやすい」「集中しやすい」授業を実現するために、ユニバーサルデザインを踏まえた「教育環境の整備」と「授業内容」、「予定や気持ちの可視化」、「写真による板書・具体物の提供」など、個々の児童の困り感に配慮した授業のアップデートを進める。

引き続きICTサポーターの支援によるプログラミング教育を通して児童の情報活用能力を高めるとともに、専門家の指導による個人情報保護やSNSトラブル防止等、児童の情報モラルの育成を図る。

#### (7) 課題解決型探究学習（PBL：Project Based Learning）の推進

これまでの「正解・解答のある課題に取り組み知識・技能を得ること」ではなく、これから変化の激しい社会において力強く生き抜くために「正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につけること」を大切に、そのために必要な言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力などを育成することで、「主体的・協働的に問題を発見し、解決する能力」を養う。そのために地域社会や企業などの学校外との連携を取り、実社会のリアルな課題に触れ、多様な対話を通して学びを深める場面を設定する。

##### 根拠とする法令等

- 【国】日本国憲法 教育振興基本計画 教育基本法 学校教育法  
学校保健安全法 教育公務員特例法 地教行法 学習指導要領
- 【府】教育振興基本計画 市町村教育委員会に対する指導・助言事項
- 【市】教育大綱 教育振興基本計画 学校園の管理運営に関する指針 他

# 枚方市立開成小学校 学校経営基本構想

## 心豊かで 互いに高め合える 開成っ子

### 学校教育目標

～自律性・共創性を大切にした教育～  
合言葉「やさしい心で 考え 行動しよう!」



### 基本理念

- (1) 法令等に則った教育の推進
- (2) 安全・安心な学校の確立
- (3) 学力および体力の向上
- (4) 「中学校区」連携と「幼保こ小」連携
- (5) 地域・保護者との連携

### めざす子ども像

- ねばり強く 健康な 子ども
  - 自分で 考えて 決めて 実行する 子ども
  - 心豊かで 思いやりのある 子ども
  - 学ぶ喜びを 感じる 子ども
- 一人ひとりの子どもを見つめ その豊かな可能性を信じて

### めざす学校像

- ◇ 笑顔あふれる 楽しい 学校
  - ◇ 信頼される 美しい 学校
  - ◇ 学びたくなり 伸びる 学校
- 子どもが 生き生きと 心地よく  
自ら進んで学ぶ 学校に

### 重点目標

- ① 体力向上の取り組み
- ② 探究的な学びに向けた授業改善
- ③ 人権教育の推進とインクルーシブな  
支援の充実

### めざす教師像

- ◎ 子どもと向き合う 教師
- ◎ 授業実践で応える 教師
- ◎ 自ら進んで学び合う 教師
- ◎ 切磋琢磨し合う 教師
- ◎ やりがいをもって生き生きと働く 教師

教育者としての  
使命感と信念を持続的に  
持ち続けられる教師で

### 保護者の願い

- 自ら 正しく 判断できる子
- 何事にも 積極的に 取り組む子
- 自然の恵みと 人々に感謝する子
- 楽しく 学校生活を送る子

### 具体的な取組

- (1) 機能的な組織体制と地域・保護者による外部評価を活かした学校運営
- (2) 自己有用感を高める生徒指導と他者を尊重する集団づくり
- (3) 具体的・客観的なデータに基づく学力と体力の向上をめざす取組
- (4) タブレットの活用と自学自習のすすめによる「シームレスな学び」
- (5) 支援教育の充実
- (6) ユニバーサルデザインあふれた学校づくりと情報教育
- (7) 課題解決型探究学習 (PBL :Project Based Learning) の推進

### 地域の思い

- 地域の子供は 地域で守り 育てる
- 学校とともに 地域に根差した  
教育活動を進める